

平成29年度関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海・病害虫部会現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・病害虫部会長
中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域長
後藤 千枝

1. 趣旨

イチゴは収益性の高い作物として、全国各地で栽培されており、特に栃木県は全国1位の生産量を占めている。このイチゴ栽培においては、イチゴ炭疽病、萎黄病等の発生や薬剤感受性が低下したハダニ類など、これら病害虫の発生がイチゴ安定生産上の大きな阻害要因となっている。近年、病害防除ではLAMP法によるイチゴ炭疽病等の潜在感染株除去技術、虫害防除では天敵利用や炭酸ガスくん蒸処理技術などの生産現場での導入が進みつつある。また、抵抗性誘導資材や新たなバンカー法資材についても研究開発が進められており、今後、病害虫の総合的な防除体系として組み合わせしていく必要がある。そこで、本研究会ではこれらに関する最新の知見についての講演発表をいただくとともに、栃木県での取り組みを視察し、各地でのイチゴIPM確立に向けた議論をおこなう。

2. 開催日時 平成29年10月12日(木) 13:20~13日(金) 12:45

3. 開催場所

研究会 (1日目) 栃木県総合文化センター
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1番8号
TEL 028-643-1000 (<http://www.sobun-tochigi.jp/>)
JR宇都宮駅(西口)より約1,600m

現地視察(2日目)

- 1) イチゴ無病苗の供給体制
(JA全農とちぎ園芸部園芸資材課園芸種苗総合センター)
- 2) イチゴの高濃度炭酸ガス処理装置および試験研究状況
(栃木県農業試験場 いちご研究所)

4. 検討事項

研究会「イチゴの総合的な病害虫防除」

- 1) LAMP法によるイチゴ炭疽病等の迅速診断 宇都宮大学 加藤 寛
- 2) 抵抗性誘導資材によるイチゴの病害防除技術の開発
岡山県農林水産総合センター 鳴坂義弘
- 3) イチゴ苗における炭酸ガス処理の実際 (株)アグリクリニック研究所 村井 保
- 4) 施設イチゴの主要害虫に対する天敵類を活用した防除について
群馬県農業技術センター 吉澤仁志
- 5) 次世代型バンカー資材キットによるイチゴのアブラムシ類防除
栃木県農業試験場 小林 誠
- 6) 総合討論

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政部局及び試験研究機関、農林水産省生産局、消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、民間研究機関、大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門、野菜花き研究部門、生物機能利用研究部門、次世代作物開発研究センター、農業技術革新工学研究センター、農業環境変動研究センター、中央農業研究センター、その他部会長が認める者

6. 連絡先

会議関係：中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域

長坂 幸吉 nagasaka@affrc.go.jp

TEL 029-838-8939 FAX 029-838-8484

参加申込み：栃木県農業試験場 研究開発部 病理昆虫研究室

福田 充 fukudat12@pref.tochigi.lg.jp

TEL 028-665-7149 FAX 028-665-7892

7. その他

参加、会場案内等詳細については事務局から別途連絡する。また、参加申込要領等は中央農業研究センターホームページの「研究交流の広場」
http://www.naro.affrc.go.jp/narc/kenkyu_koryu/news/075679.html から入手できる。